10 年後の岩手

岩手県立大槌高等学校３年　阿部愛音

私は、10 年後の岩手県は、若者がやりたいことを実現できる、そして、子どもからお年寄りまで、たくさんの人に愛される場所になってほしいと思っています。

若者は都会にあこがれをもち、高校を卒業して、都会の学校へ入学をしたり、働きへ行く人が多くいると思います。やりたい仕事が都会にしかないため、といった理由もあると思います。ですが、都会へ出た若者の支えであるものは故郷です。岩手から都会へいった人の支えは、岩手が心の支えになっていると思います。私は、そんな故郷を思う若者が、未来の岩手のためにさまざまな事を成し、私たちが住みよい岩手をつくってくれると信じています。私達も社会へ出る一歩前なので、岩手がもっと素敵な場所になるように、町の人へ対する明るいあいさつ、思いやりの心をもつところから始めていこうと思います。

2011 年３月に起きた大災害により、岩手県は巨大地震、沿岸地区は大津波に襲われ、大きな被害を受けました。私の大好きだった町並みはなくなり、私や人々にとって、今までにない辛い経験でした。７年たった今でも、小さい子が安心して遊べる場所や、お年寄りがまったりできる場所はあまりありません。そんな子供やお年寄りに対して私たちができることは、遊び相手、話し相手になることだと思います。場所は少なくても、子ども達と思いきり遊び、子どもの明るい笑顔をたくさん増やしたいです。そしてお年寄りのそばに寄りそい、話をじっくりと聞き、お年寄りの楽しめる空間づくりをしたいです。このようなことができるのは、若い世代である私たちだと思います。何事にも全力で行える時期だからこそ、地域に貢献し、子どもやお年寄りに力になりたいです。

岩手には、美しい山や澄んだ川があり、自然豊かな場所です。特に、私の住んでいる沿岸地域には、青くて美しい海があり、私の自慢でもあります。私は自分の町の海が大好きです。大震災で大きな津波をもたらしましたが、今では青青とした輝きをもちながら、私たちの町を見守っています。海は町民、そして岩手の誇りです。沿岸地区はまだ復興の途中ですが、私たちの若い力で行える手助けをし、10 年後には今よりさらに自慢できる場所になることを願っています。

10 年のうちにできることはたくさんあると思います。今は 18 歳ですが、10 年後には 28 歳と、自分達で働いてお金を稼げるようになっていると思います。学生のうちにできることは、地域で行うボランティア活動や、あいさつです。積極的に参加し、子どもと遊び、笑顔を増やすことや、お年寄りの話し相手になり、ゆったりできる空間をつくるなど、地域の人々に貢献したいです。また、周りの人に明るいあいさつをし、町民が明るい気持ちになるように努めたいです。そして学生を卒業したら、人々だけでなく地域にも貢献したいです。

私は将来、保育士になりたいと考えています。子ども達が安心して心から楽しめる場所を作り、笑顔を増やしたいです。そして、10 年後の光になる子どもたちの成長を手助けしていきたいです。